
道産娘！！

ミスター

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

道産娘！！

【Nコード】

N17950

【作者名】

ミスター

【あらすじ】

条のクラスに転校してきた道産子娘の長尾里音。里音と条のありえない？生活が始まったり始まらなかったり始まったり。

出会い

「あたし、あんたの事がなまら好きだべ！」

誰だって、突然そんなことを言われてしまったては戸惑うだろう。しかし、それが現実に起きたのである。

遡ること一週間。

俺の学校に一人の美少女とでも言うべき女の子が転校してきた。

自己紹介しなさいとの担任の支持の後に彼女が自己紹介を開始した。

「北海道からやって来ました、長尾といいます。長尾里音ながおしおです。趣味とかそういうのは……。いろいろです。よろしくおねがいます。」

「いろいろかあ……」俺は思ったが特に突っ込みはしなかった。初対面だし。

担任が「じゃあ条の……左の一番奥の席に座ってください。」

え？俺の隣……？

ん……。まあいいか。特に話すわけでも……なんて思ってたらいきなり話しかけられてしまった……。

「ねえ。隣になったから、よろしくね。条君。」

「あ……うん。俺の名前は姫路条ひめじじょう。あ……よろしく……。」「いきなりで戸惑った。北海道って意外となまってないんだと変な所

に関心してしまった自分がいた。

何だかんだで初日ですぐに打ち解けて、仲良しの友達くらいにはなってきた一週間後。

偶然家の方向が同じだったので一緒に帰る。

そんな時、言われたのが「あたし、あんたの事がなまら好きだべ！」だった。

いきなりの北海道弁全開。

しかも会って一週間。どうしていいか分からなかった。

出会い（後書き）

始めました、初めての連続タイプ。

僕のいろゝんな趣味をたっぷり詰め込む予定なので、続きもおたのしみにいゝ…。

告白（前書き）

前からずいぶん空いてしまいました…。

告白

「…」

ちよつと間が開く。

「ん？どうしたん？」

彼女が不思議そうに聞いてくる。

どうしたんって…。

そりゃ困るでしょ…。

「え…。え〜と…え？どういうこと？」

戸惑う俺。

「どづいつって…？だから！あたしは！」

「あ…。いやいやいや。そうじゃなくて…」

「じゃあどづいつ…？」

「ん〜…。何と言いますか…。突然どうしたの？」

「え？いや…。あなたと付き合おうかと思って」

え〜…。

いや、待てよ。俺も今は誰かと付き合ってる訳ではないし…。

彼女だつて…。

よし！

「ん。分かった。じゃあ付き合つか」
なんだこの展開は…。

「じゃあさ、趣味教えてよ…」
俺が尋ねる。

「え？あ、いいよ。あたしはいわゆる歴女つてやつ！好きな武将は
武田信玄！あんたは？」

「俺は…。そうな…。ん…。無い」

「え…。無いか」

会話が弾まない…。

そんなこんなで家に着いた。

「じゃあね。また明日」
そう言つて彼女と別れる。

「じゃあ！明日7時半に迎えに来るね」

あ、来るんだ…。

まあいいか。

今日一日疲れた。

もう寝よう。

帰ってすぐ寝た。

告白(後書き)

…。
進まない…。

どうすれば…？

会話（前書き）

今回は会話文メインに行こうかと…。

会話

朝…。

「おはよ。そろ学校行くつしよ！早く！ちゃんとじよっぴんかった？」

お迎えが来た…。

「え…？じよっぴ…？」

「じよっぴんかる。えっと、共通語で言つと鍵閉める」

「じゃあ最初つからそういつてくれれば…」

「だってさ、道産子つばさが無くなるかとおもって…」

「キャラづくりですか…」

「そうです」

「そうですか」

で、学校に着く。

日本史の授業で戦国時代について触れた後の休み時間。

「ねえ、さつきさ！戦国！戦国やったつしよ！」
興奮気味の彼女。

「え？あ…。うん…」

正直あんまり聞いてなかった。

「信玄！信玄様！でたね！三方ヶ原と川中島！三つ割凌！うちの家紋は九曜巴！三つ巴が九個も！」

「え…？ん？三つ巴？」

「そう！あれ良くない！？」

ああ…。あの漫画か…。おれはそう思った。

「え…。ああ、面白いよね。あの三人」

「え…。三人？」

「え…。」

お互い話通じず…。

まあ、二人の仲を祈って下さいってことで強引に幕を下ろさせていただきます。

会話（後書き）

無理やり終わらせた…。

きし…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1795o/>

道産娘！！

2011年1月18日20時36分発行